

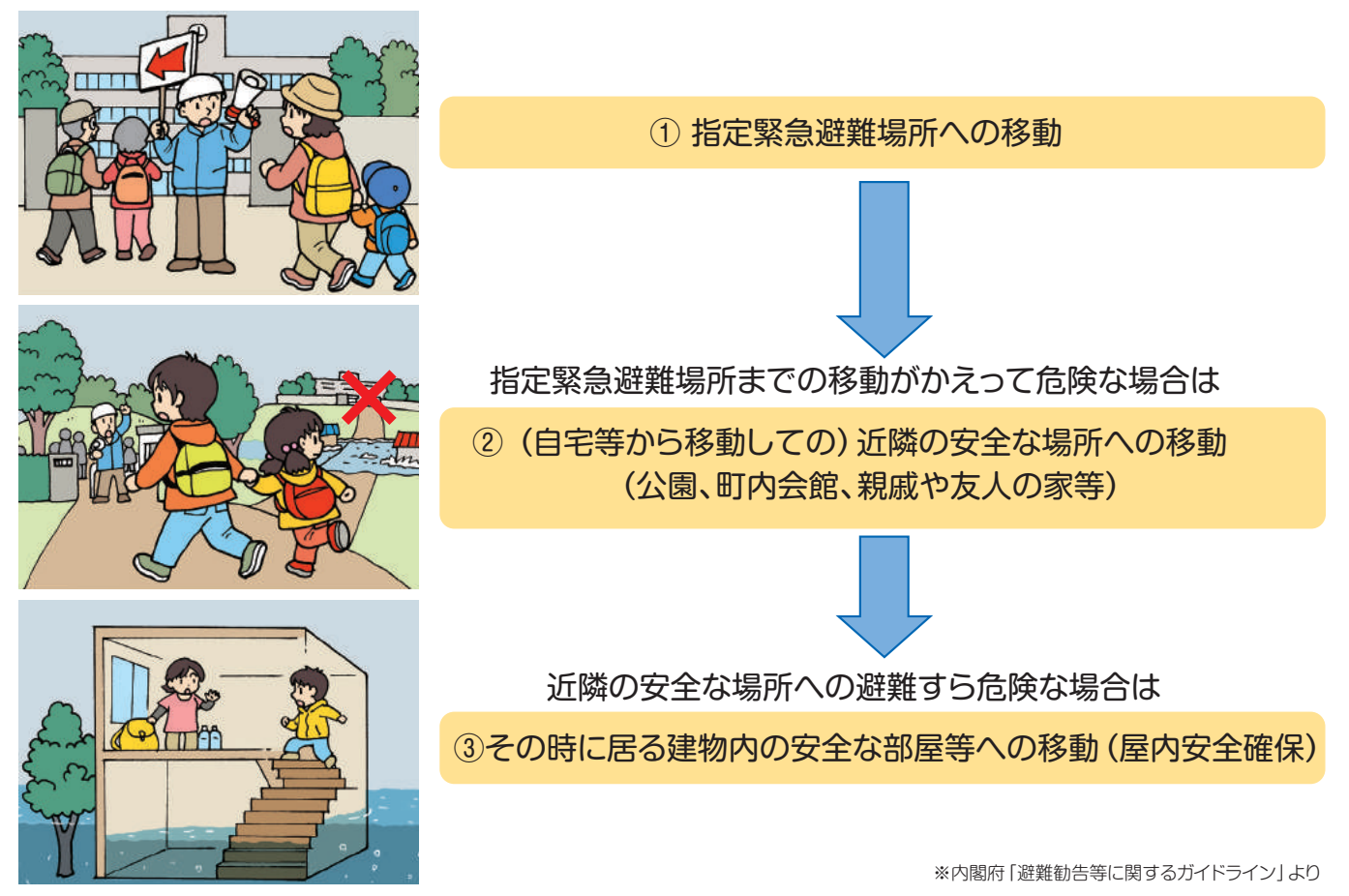
砂川市洪水ハザードマップ

保存版 平成30年3月作製

「避難」～災害から命を守る行動～

避難行動の考え方

- ◆本来、避難勧告は避難のための(現在いる危険な場所からの)立退きの勧告を意味しています。
- ◆市から避難勧告が発令された時は、災害の種類に応じた指定緊急避難場所へ速やかに避難する必要があります。
- ◆指定緊急避難場所へ移動することができて危険であると自ら判断した場合には、次善の避難行動として「近隣の安全な場所」へ移動することも考えられます。
- ◆「近隣の安全な場所」への避難すら危険だと、自ら判断した場合には、やむを得ず、その時に居る建物内の安全な部屋等へ移動する「屋内安全確保」を行うことも考えられます。



砂川市

防災情報等を「地デジ広報」で確認

市では、自宅などのテレビで最新の砂川市のイベントやお知らせ、災害などの緊急情報を見ることが出来る「地デジ広報」のサービスを行っています。スマートフォンやパソコンの操作が得意でない方でも、普段使いなれた自宅のテレビで災害時の情報等を取ることが出来ますのでぜひご利用ください。

- 1 UHB (チャンネル8) を選択
- 2 リモコンのdボタンを選択
- 3 リモコンの黄色ボタンを選択
- 4 見たい記事を選ぶ

“北海道防災情報のメール配信”で確認

北海道防災情報

防災情報が発表された時など、災害の危険が迫っていることを素早く知らせてくれます。いち早く情報を入手するために有効な手段ですので、積極的に登録しましょう。

メール配信登録方法
防災情報配信登録を選択 → 同意 同意事項確認 → 同意しますを選択 → 空メールを送信 → 配信希望箇所を選択 → 詳細設定 → 登録内容確認 → 登録完了

配信される情報は
◆警報・注意報 ◆地震情報 ◆避難情報 ◆洪水予報 ◆弾道サイバー情報 等

ホームページ版 <http://www.bousai-hokkaido.jp/>
携帯電話版 <http://i.bousai-hokkaido.jp/>

ご存じですか？災害用伝言ダイヤル

地震などの大きな災害が起きると、家族や知人などに連絡をとるため、多くの方が一斉に電話をかけ、電話が繋がりにくい状況になります。そんな時に役立つサービスがNTTの「災害用伝言ダイヤル」です。

災害用伝言ダイヤル「171」で声を残す

171 → 伝言を残すときは 1 → 伝言を吹き込む
171 → 伝言を再生するときは 2 → 伝言を聞く

Web版 パソコンや携帯電話による確認方法

Web版 特定のトップメニューから「災害用伝言ダイヤル」を選択し「伝言を残す」をクリックして登録します。登録後、伝言を残すことができます。登録後、伝言を残すことができます。登録後、伝言を残すことができます。

防災情報

市のホームページでは、最新の災害情報を確認できるホームページをあらかじめリンクしてありますのでぜひご利用ください。
【リンク先の先および確認できる災害情報】
国土交通省川の防災情報、河川の水位や雨量
国土交通省の防災情報、河川の水位や雨量
北海道防災情報、災害の発生状況や避難情報、避難がしている場所
tenki.jp、市の天気予報など

ホームページのトップページから、「防災・火災情報」⇒「自らの積極的に情報収集を(河川の水位や雨量の情報等)」へお立ちください。

雨による危険度のチェックポイント

- 傘が壊れる** (1時間以上20mm以上の雨) 傘が壊れる。地面からの跳ね返りで足元が濡れ、雨の音で足元がよく聞こえなくなる。
- 風が強い** (1時間以上20mm以上の雨) どうし降りる雨。傘をさしても濡れ、車を運転する際にワイパーを早くしても拭ききれない。
- バスが壊れる** (1時間以上20mm以上の雨) バスをのりこぎしたように降り、高速度走行時にブレーキが効かなくなる。
- 車が壊れる** (1時間以上20mm以上の雨) 濡れに濡れる雨。水がはね、視界が一瞬白くなる。視界が狭くなる。雨音で集中力が落ちる。
- 体が壊れる** (1時間以上20mm以上の雨) 暑さや寒さによる体調不良。雨音で集中力が落ちる。

風による危険度のチェックポイント

- 平均風速(10-15m/s)** 風に向かってもまぶしくなり、樹木全体が揺れ始める。
- 強い風(15-20m/s)** 風に向かってもまぶしくなり、樹木が倒れ始める。看板やタコ糸が飛ばれる。
- 被害に強い風(20-30m/s)** 物が飛ばされ、立っている間に倒れる。看板が破れる。
- 猛烈な風(30m/s以上)** 屋外での行動は極めて危険。多くの樹木が倒れ、電柱や街灯が倒れる。看板が破れる。

洪水についての基礎知識

- 外水はらんらん**
 - 大雨や雪解けによって、川の水量が増え、水かさが増える。
 - 堤防が押しつぶされ、水が溢れる。土砂が崩れる。
 - 水圧に堤防が耐えられなくなると、一部が崩壊し、水が溢れる。
- 内水はらんらん**
 - 大雨が降ると、川の水位が上がると、排水されず、内水が増える。
 - 地下水位が上がると、地下水位が上がり、土砂が崩れる。
 - 大雨が降ると、川の水位が上がると、排水されず、内水が増える。

災害から身を守る

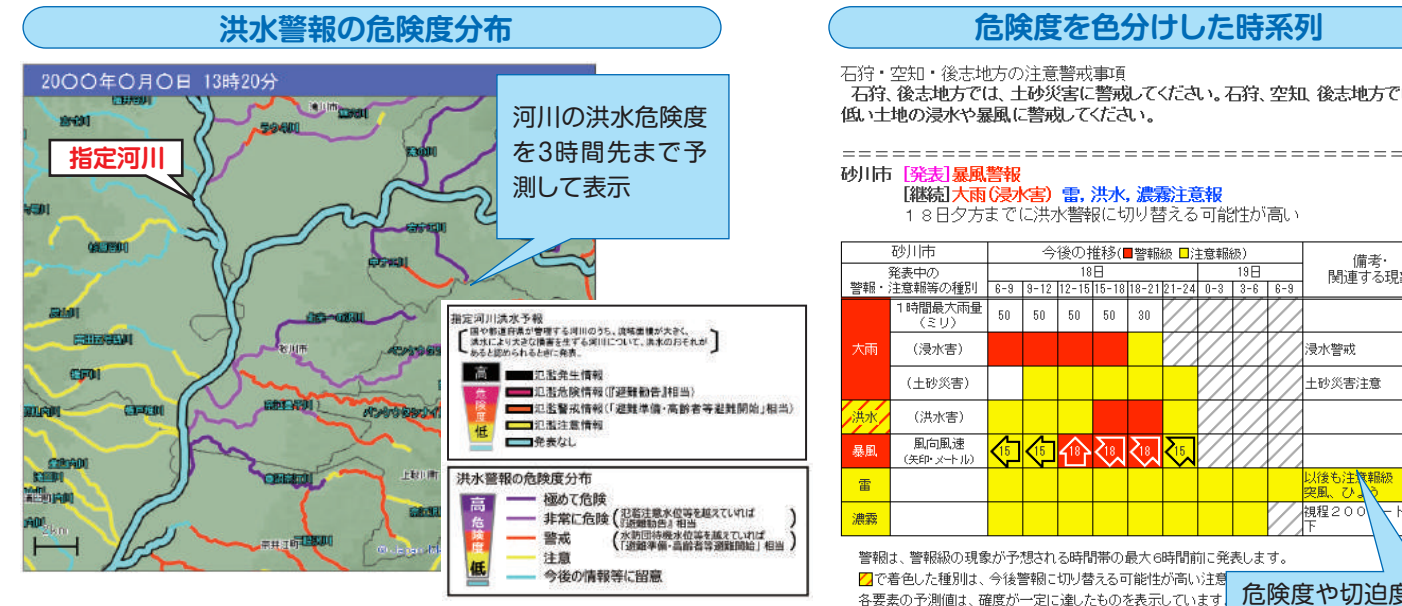
- 指定緊急避難場所と指定避難所の違い
- 指定緊急避難場所: 災害の危険が迫っているときに、災害の危険から命を守るために一時的に避難する場所。砂川市では学校のグラウンドや駐車場などの場所を指定しています。
- 指定避難所: 災害の危険が迫っているときに、災害の危険から命を守るために一時的に避難する場所。砂川市では学校のグラウンドや駐車場などの場所を指定しています。
- 避難情報の種類: 災害発生時の危険がある場合、避難行動を適切に行うため、次々と避難勧告等の情報を発令します。それぞれの情報に応じて適切な行動をとってください。

- 避難準備・高齢者等避難開始: おおむね避難に時間がかかる方は避難を開始しましょう。指定緊急避難場所への避難は危険と判断した場合は、近隣の安全な場所へ避難してください。
- 避難勧告: 指定緊急避難場所へ避難し、指定緊急避難場所への避難は危険と判断した場合は、近隣の安全な場所へ避難してください。
- 避難指示(緊急): 極めて危険な状況になっています。指定緊急避難場所への避難は危険と判断した場合は、近隣の安全な場所へ避難してください。

- 水平避難と垂直避難: 災害発生時の危険がある場合、避難行動を適切に行うため、次々と避難勧告等の情報を発令します。それぞれの情報に応じて適切な行動をとってください。
- 情報の入手方法: テレビ、ラジオ、スマートフォン、インターネット、スマートフォンアプリ、携帯電話による避難情報の通知。
- 地上デジタルテレビで河川情報が観られます: 1 NHK (チャンネル3) を選択, 2 リモコンのdボタンを選択, 3 防災・生活情報を選択, 4 NHKトップメニューの「河川水位・雨量」を選択

自ら積極的に情報収集を

- 集中豪雨や台風等が発生した場合、小さな河川は極めて短時間であふれ、堤防が決壊する恐れがあります。確実に生命を守るために、市からの避難情報を持ってはならず、インターネットの活用などで自ら積極的に情報を収集し、危険を回避してください。
- 1 砂川市のホームページを開く <http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/>
- 2 「防災・火災情報」をクリックして表示を切り替え
- 3 「自らの積極的に情報収集を(河川の水位や雨量の動き等)」をクリックした先のページから確認したい情報を選択してください。



- 警報級の可能性: 大雨警報(浸水)の危険度分布
- 大雨警報(浸水)の危険度分布: 浸水警報が発令された場合に、浸水が開始する可能性があります。
- 土砂災害警戒判定メッシュ情報: 土砂災害警戒判定メッシュ情報
- 土砂災害警戒判定メッシュ情報: 土砂災害警戒判定メッシュ情報

- 1 UHB (チャンネル8) を選択
- 2 リモコンのdボタンを選択
- 3 リモコンの黄色ボタンを選択
- 4 見たい記事を選ぶ

災害への備え～家庭での備蓄

災害に備え、食料等を備蓄する必要性を感じる方は少なくありませんが、数日の管理や消費期限の確認などを考えると、実際に備蓄を続けるのはなかなか難しいものです。しかし、普段から利用しているカップ麺やレトルト食品等を少し多めに購入し、日常生活で消費しながら備蓄する「ローリングストック法」であれば、いざという時に日常生活に支障がなくなります。

ローリングストック法

定期的な食料の消費と、食料の消費を兼ねて備蓄する方法。消費期限が近いものも非常食として扱えます。

在庫確認: カップ麺、レトルト食品、缶詰など

消費期限が近づいたものを日常的に消費

食料などを多めに購入

在庫確認: カップ麺、レトルト食品、缶詰など

消費期限が近づいたものを日常的に消費

食料などを多めに購入

非常持出品

- 一次非常持出品(例)**
 - 食品: 缶詰、乾パン、缶詰、乾パン、缶詰、乾パン
 - 飲料水: 缶詰、乾パン、缶詰、乾パン
 - その他: 懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー
- 二次非常持出品(例)**
 - 食料: カップ麺、レトルト食品、缶詰
 - 飲料水: 缶詰、乾パン、缶詰、乾パン
 - その他: 懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー

竜巻からの身の守り方

- 地下室や建物の最下階に移動する
- 窓を開けない
- 窓から離れる
- カーテンを引く
- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動する
- 部屋の構・ドア・外壁から離れる
- 頑丈な机に入り、両腿で頭と首を守る
- シャッターを閉める
- 陸や陸の下に行かない
- 近くの頑丈な建物に避難する
- 建物がない場合は、近くの水路やほかに身を伏せ、両脚で頭と首を守る
- 車庫・物置・プレハブを避難所としない

地震に備える

- 窓ガラスには飛散防止フィルムを貼る
- 家具の転倒、落下防止対策をしよう
- 寝る時の姿勢、落下防止対策をしよう
- 安全に避難できるように、玄関や廊下などに家具や荷物を置かないようにしよう
- 落ち物に当たらないように、姿勢を低くして自分の身を守ろう
- 揺れが収まった後は、火災の発生をしよう
- ドアや窓を開けて出口を確認しよう
- ガラスの破片などから身を守るためスリッパや靴をはきまよう
- エレベーターは必ずしも利用しないようにしよう
- テレビやラジオなどで正しい情報を収集しよう
- 家元の備蓄や火災の延焼などのおそれがあれば避難しよう
- 状況に応じて緊急所へ避難して火災活動や救助活動を行おう
- 避難する際は必ずエレベーターを避け、階段を下りよう
- 生活必需品は非常持出品で代用しよう
- 家元の備蓄や火災の延焼などのおそれがあれば避難しよう
- 状況に応じて緊急所へ避難して火災活動や救助活動を行おう
- 避難する際は必ずエレベーターを避け、階段を下りよう

災害と避難 Q&A そばかな疑問

- Q 必ず指定緊急避難場所や指定避難所へ避難しなければならないのでしょうか?
A 災害の種類・規模にもよりますが、より安全に避難できるところに状況に応じて避難することが求められます。一時的な避難として公園、町内会館、親戚や友人の家など有効な自主避難先あり。避難が長期化する場合は指定避難所へ移動するといった対応も十分考えられます。
- Q 自宅外へ避難するとき、何に注意すべきでしょうか?
A 浸水の中を避難することは危険です。自宅外へ避難する場合は、浸水が始まる前の段階にしましょう。普段から非常持出品の準備をしておくことや、避難ルートを確認しておくことも重要です。
- Q 避難勧告などが発表されるのを待ってから避難したほうがいいでしょうか?
A 暴風雨の状況下では「避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))」の発表に気づかなかったといった事態も起こります。避難情報を受けた時、早めの段階で豪雨や河川の状況に応じて自主的に判断し、避難することも重要です。

土砂災害の互知識

- 崖石落下: 崖の石や土砂が崩れ、崖下の建物や道路に落下する
- 崖崩れ(急傾斜地の崩壊): 崖の土砂が崩れ、崖下の建物や道路に落下する
- 崖崩れ: 崖の土砂が崩れ、崖下の建物や道路に落下する

こんな前ふれ現象に注意!

- 土砂災害: 次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周囲の人と安全な場所へ避難することに、関係機関へ連絡してください。
- 土砂災害: 次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周囲の人と安全な場所へ避難することに、関係機関へ連絡してください。